明石市 任期付職員　2022年4月採用

こども支援担当

福祉のさらなる増進に向けた職員募集です

募集

募集期間　2021年12月7日～1月11日
募集人数　5名程度

あなたの力と知恵を、子どもたちの未来のために発揮してください！

やさしい社会を明石から

こども支援のために、あなたの力を明石市で活かしてください！

明石市では、「こどもを核としたまちづくり」を市政方針の中心に位置づけ、「すべてのこどもを地域みんなで支援する」考えのもと、児童相談所の開設やこども財団の創設を契機として、あかし里親１００％プロジェクト、こども食堂の全小学校区での開設など、こども目線で総合的な支援に取り組んでいるところです。

また、現在のコロナ禍においても、市民に最も近い基礎自治体として、すべての市民の健康と生活を守るため、感染対策はもとより、「生活支援」や「セーフティネット・見守り」を強く意識した「誰ひとり取り残さない」施策の展開を図っています。

しかしながら、こどもの貧困や虐待などへの対応はまだ道半ばであり、取り組みをさらに加速し、充実させるためには、よりきめ細やかに市民ニーズや課題を把握し、こどものために熱意を持って一緒に汗を流せる人材の確保が一層重要となっています。

そのため、全国の自治体、児童相談所、社会福祉法人、ＮＰＯ法人等でのケースワークや相談支援など、こどもや福祉分野の第一線で活躍されている、知識・経験・情熱等を持った人材にお越しいただき、ぜひ私たちとともに、すべての人にやさしいまちづくりを目指し、明石市であなたの力を存分に発揮していただきたいと思います。

ご応募お待ちしております。

明石市長
（社会福祉士・弁護士）
泉 房穂

募集概要　※詳細は試験案内を確認してください　**応募締め切り　1月11日（火）**

職務内容　①こどもにかかる相談支援
②こども支援に関する企画立案・実施
③地域のこども支援ニーズの把握と集約
④市民、企業等の参加の促進、啓発　など

申し込みはWEBで！

身　　分　フルタイム勤務の任期付職員
※職責及び給与水準は正規職員と同等です

募集人数　５名程度

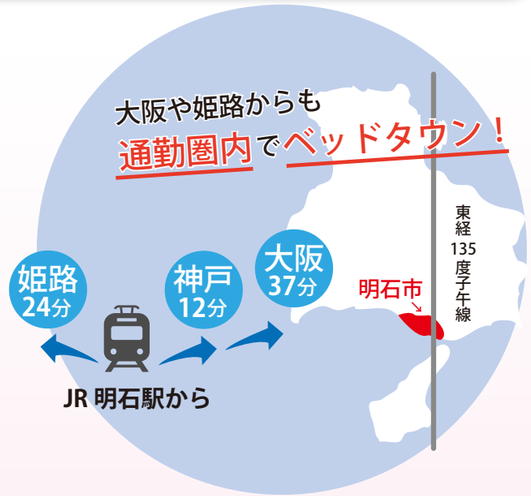
受験資格　次の①及び②を満たす方
①1957年（昭和32年）４月２日以降に生まれた人
②こども・福祉分野における実務経験（こども・高齢者・生活保護等のケースワーク、相談支援など）や、これに準ずると認められる経験等を３年以上有する人
※資格の有無は問いません

明石はこんなまち

海のまち
瀬戸内海に面した温暖な気候
タコ（マダコ）
水揚げ量は日本一！

明石焼（玉子焼）

時のまち
日本標準時子午線が通る
天文科学館
プラネタリウムは長寿日本一！



住む人
９年連続増
人口が
過去最高に

全国戻りたい街ランキング 2021 **第1位**
出典／「生活ガイド.com」
NO.1

人口増加率
中核市で第1位に
NO.1
※国勢調査2020年（速報値）と2015年を比較した人口増加率のランキング

もっと選ばれるまちを目指して

明石市の独自施策が全国で注目されています！

明石市が進める特色ある施策　検索

詳細は明石市ホームページをご覧ください
試験案内や申込方法を閲覧・印刷できます

明石市　採用　検索

お問い合わせ　明石市総務局職員室職員担当
兵庫県明石市中崎1-5-1　電話078-918-5006
メールアドレス
jinji@city.akashi.lg.jp

子ども一人ひとりに寄り添います
次に活躍するのはあなた！

子育て世代の人口増加につながっている全国トップクラスの明石の子育て支援。「すべての子どもたちを」「まちのみんなで」「本気で応援」をキーワードに、まちの未来でもある子どもを全力で応援しています。

明石市がおススメな3つの理由

1 市民に一番近いところで
他の専門職や行政職と連携し、アウトリーチを積極的に行っています。

2 全国に先駆けた施策を
全国初の取り組みを進める中心的役割を果たしています。

3 幅広い部署で
明石こどもセンターや**こども財団、教育**など幅広い部署に配属されます。

最優先は こどもの幸せ

すべての子どもたちを
誰一人として取り残さない

＋

まちのみんなで
行政や地域や市民みんなで

＋

本気で応援
あれもこれも全部やる

中核市で関西初 児童相談所（明石こどもセンター）

2019 年、明石市は中核市として3か所目、関西では初めてとなる児童相談所「明石こどもセンター」を設置。多様な専門職を配置し、一時保護中の小中学校への通学も可能に。

全体に目配りできるよう市の中央部に立地

こども食堂 全小学校区で実施
地域の気づきの拠点 あかし版こども食堂 全国初

地域のあらゆる世代が、気軽に集まり、支援が必要な子どものサインにいち早く気づく重要な役割を担っています。

あかしこども財団がバックアップ

関西初 専門人材の育成も
全国の児相職員の研修拠点 西日本こども研修センターあかし

全国のこども虐待防止に関わる関係機関などで主に指導的立場にあたる職員を対象に高度専門的な研修を実施します。また、放課後児童クラブの支援員研修も行っています。

あかし里親100%プロジェクト 全国初
＼すべての子どもに家庭のぬくもりを／

あかし里親センター

すべての子どもたちが、家庭での愛情やぬくもりを感じながら育つことができるよう、里親家庭を身近に増やす取り組みを進めています。

地域の子育て支援を推進

教育関連相談
スクールソーシャルワーカーなどと連携、いじめ対応など

虐待ケース対応
社会福祉士や臨床心理士らが中心となり一人ひとりに寄りそう

児童発達支援

ひきこもり相談支援の推進

離婚前後の子どもの育ちを応援 全国初

- こどもの養育に関する合意書や養育プラン作成の手引きの配布
- 面会交流のお手伝い
- 養育費立替払い

まちのみんなで子どもを見守る

先輩からのメッセージ

手話通訳士・社会福祉士
障害福祉課
米野 規子　コミュニケーション推進担当係長

▶現在担当している仕事とやりがいは？

学生時代に障害児教育や手話を学び、大阪府内の市役所で勤務する中で、明石市の福祉施策に魅力を感じ、入庁しました。

市の手話言語・障害者コミュニケーション条例や、障害者配慮条例の普及啓発に関わる業務を担当しています。市民への普及啓発活動として、小学校での手話教室の開催や、施策推進協議会の開催、障害者差別に関する相談対応、施策の企画・立案などのほか、手話通訳者として庁内外の手話通訳や、情報保障に関する相談や調整も行っています。

手話だけでなく、人とのコミュニケーションや障害のある人に興味を持つ子どもたちと接することで、私たち職員も気づきや元気をもらっています。

先輩からのメッセージ

社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師
田名部 真衣　生活福祉課　福祉職員

▶現在担当している仕事とやりがいは？

地元の北海道の市役所で、事務職員として勤める中で、福祉部門での経験をきっかけに福祉の仕事により興味を覚え、在職中に社会福祉士資格を取得しました。そして、明石市の福祉の取り組みに強く惹かれ試験を受けて明石市に入庁しました。

現在は、生活福祉課のケースワーカーとして、担当世帯への家庭訪問や生活保護費の計算・支給事務、新たに生活保護の申請を希望される方の相談受付などを行っています。ケースワーカーは、トータルな支援力が求められる仕事であり、福祉の専門的な知識と、前職の行政経験の両方を活かしながら支援に取り組む中で、新たに学ぶことも多く、日々自分の成長を実感できています。

誰ひとりとして取り残さないやさしいまちを、ぜひ一緒に作っていきましょう。

徹底紹介　詳しくはこちらの動画をご覧ください→
明石が選ばれる理由

先輩からのメッセージ

臨床心理士・公認心理師
二川 亜沙子　こども支援課 福祉職員

▶現在担当している仕事とやりがいは？

病院の心理士や児童相談所の保護所での職務を経験して、入庁しました。こども支援課では、虐待をはじめ、非行、障害、育児・しつけまでのあらゆる相談を受け付けています。児童心理司として、こどもへの心理検査などを行い、ケースワーカーからの保護者の情報と併せ、こどもが暮らしてきた背景などから、こどもが抱えてきた思いや辛さを見立て、保護者へ関わり方の助言をしています。こどもと粘り強く向き合い、他の職員と連携しながら、多角的な視点で家族の問題点や支援を考えながら相談対応を行っています。

こどもに応じた関わりを保護者と共有でき、こどもが家庭の中で、笑顔で生活できるようになった時はやりがいを感じています。

詳しくは明石市ホームページをご覧ください
明石市　検索
https://www.city.akashi.lg.jp